

平成 28 年度 ライフサポートてをつなぐ事業報告

3月末で、開所より丸3年となりました。当初より経営的に厳しい状況にあり、この一年は、従来のきめ細やかな支援を提供することを大切にしながら、一方で居宅事業検討会議を行い、事業の安定した運営を模索してきました。

結果、法人内の他事業所への移転を行い、事業に係る経費の削減と人的資源を有効活用しながら、事業を存続できるように収支のバランスを整えることとなりました。

今後の居宅事業の発展を願いつつ 28 年度の報告を以下の通り行います。

1. 利用者の状況

28年 度	契約者数(下段は平均実利用者数)					
	契約数	身体 介護	家事 援助	通院 等介 助	移動 支援	重度 訪問
	63	28	24	5	31	1
	28	10	8	1	16	1

2. 事業内容について

(1) 居宅介護事業（障害福祉サービス）

ご自宅に訪問し、調理・洗濯・買い物・入浴・衣服の着脱、整理整頓等日常生活の支援、また歯科や耳鼻科等の通院の支援を行った。

(2) 重度訪問介護事業（障害福祉サービス）

居宅介護事業に準じ、その他家電製品の操作や日常生活に生じる介護に対応するための見守り等の支援を行った

(3) 移動支援事業（地域生活支援事業）

外出に係る支援を行った。

外出の目的としては、地下鉄やバスなどの公共交通機関を用いて、買い物・食事などに同行し支援を行った。

3. 支援者の状況 平成 29 年 3 月 31 日現在

(1) 支援体制

常勤職員 3 名（男 2 名・女 1 名）に加え、その他登録ヘルパーや法人職員の協力を得て支援を提供した。

	登録ヘルパー		協力職員	
	男	女	男	女
平成 27 年度	0	3	5	5
平成 28 年度	0	3	6	7

(2) 居宅事業検討会議（平成 29 年 2 月 17 日評議員会・理事会 報告）

- ・平成 28 年 6 月～29 年 1 月 月 1 回 計 8 回開催
- ・制度内容と現状の把握・他事業所との比較検討・今後の方向性 等検討した。

利用と支援の提供のバランスが取れるようになるには、ヘルパーの確保が不可欠であるが、他の事業所においても登録ヘルパーの確保が難しい状況であった。また、制度上サービス提供以外の加算が見込めず経営が苦しい現状についても同様であった。結論は、法人内の他事業所に併設すること、ヘルパー業務を担う人材の確保に力を入れると同時に、収益性やサービス内容の幅を広げるため、行動援護や介護保険の訪問介護のサービス提供等の実施を検討することとした。

- ・平成 29 年 4 月 1 日よりひまわり園において業務を行っている。

☎ 819-0006

福岡市西区姪浜駅南 4-10-13

障がい福祉サービス事業所 ひまわり園内

☎ 092-834-3320 / FAX 092-885-3860

e-mail teotunagu@fiku.jp

(3) 職員会議及びヘルパー研修

職員会議、ヘルパー研修、必要に応じてケア会議を適宜行いました。

① 事業所・法人内研修

8 月～12 月 救命救急講習

10 月 新型インフルエンザ等発生時における業務継続計画(BCP)について

11 月 虐待防止法の理解

12 月 意思決定支援研修会

※その他、利用者についての個別のケア会議を毎月実施

② 外部研修

8 月 災害発生時における福祉避難所の役割（民間障がい施設協議会）

9 月 ホームヘルパースキルアップ研修 「精神障がい・高次脳機能障がい」医療ケアの必用な方々の地域支援

10 月 自閉症スペクトラム支援者養成研修 基礎講座①

自閉症スペクトラム支援者養成研修 基礎講座②

ホームヘルパースキルアップ研修「知的障がい・発達障害者(児)の理解」

11月 感染症予防研修(後期)

ABAの実際 ～ペアレントトレーニングの重要性～

12月 安全運転講習会・架装装置操作講習会

③ その他 ※強度行動障害支援者の資格取得

平成28年度 強度行動障害支援者養成研修 基礎研修

平成28年度 強度行動障害支援者養成研修 実践研修